

令和3年度 教育委員会予算案提示！

令和3年度の教育委員会所管の当初予算額は、前年度比で0.2%増加し、1,263億円となっています。「7つの緊急・重点プロジェクト」に基づき、ICT教育の推進をはじめとする8の新規事業が提示されました。新型コロナウイルス対策やデジタル化の推進に重点的に予算配分されています。デジタル化の推進という点では、様々な取組により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子供たちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進を目標に掲げています。

○新 ICTを活用した先進的教育推進事業

個別最適な学びに向けた基盤整備や海外との遠隔授業等の推進、デジタル人材の育成

- ◇統合型校務支援システムの早期整備(義務制の学校への導入の検討)
- ◇ICT支援員の設置(県立学校)
- ◇高度な技術的な問い合わせの支援としてICTヘルプデスクの設置(県立学校)
- ◇時間と空間を超えた遠隔授業等の推進

等

○継 いじめ・不登校等対策強化学業

1人1台タブレット端末等の活用により、オンライン相談・カウンセリング体制の充実

- ◇相談・支援体制の充実：不登校等の理由や、児童生徒等の希望、臨時休業等により、対面での実施が難しい状況下においてもオンラインで実施

○継 思春期グローイングハートプロジェクト事業

心の専門家であるスクールカウンセラー(SC)による「心理教育プログラム」を実施し、学校における心の教育を一層充実させ、子供の「心」を育成

- ◇「心理教育プログラム」の実施
全ての公立学校(分校を含む)にSCを年4回(1回4時間)派遣
- ◇グローイングハートプロジェクト推進委員会の運営

○拡 小学校英語専科教員の配置

小学校の英語教育の教科化に伴う、新学習指導要領の趣旨に沿った専門性の高い学習指導と教員のモチ授業数軽減のための配置

- ◇県内にモデル校を指定し、英語に関する専門的な知識・技能をもった教諭28人配置

※ 昨年度より1人増

○**新** 県立社会教育施設感染症予防等事業

コロナ禍における新しい生活様式に対応した新たな図書館サービスの導入

- ◇電子図書館サービスの導入
- ◇図書消毒器の整備

○**新** デジタル化対応産業教育装置整備事業

D X(デジタルトランスフォーメーション)に対応し、地域の産業界を牽引する職業人材育成

- ◇デジタル化に対応した産業教育装置の整備
- [整備校] 工業、商業、農業等の職業系専門高等学校

○**新** 次期県立高校将来構想策定事業

今後の中学校卒業見込者数の大幅な減少を踏まえた将来構想の策定

- ◇社会の変化や生徒の多様化等にも対応する高校教育のあり方の検討
- ◇学校配置や学科構成等の方向性について、民間のシンクタンク等の客観的で詳細なデータに基づき、中・長期的かつ全県的な視点に立って検討を行う協議会の設置

○**新** 乳幼児の育ちと学び支援事業

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を開設し、幼児教育施設に対し、公私や施設類型の区別なく研修等の機会や情報の提供

- ◇保育士・幼稚園教諭・保育教諭に対する研修
- ◇市町や幼児教育施設に対する指導・助言
- ◇幼児教育・保育に関する情報提供・啓発
- ◇幼児教育・保育に関する調査研究

その他、主な事業として、

- ☆ 学校業務支援員事業：公立小・中学校 110 人
- ☆ やまぐち部活動応援事業：部活動指導員 120 人（中 80 人、高 40 人）
- ☆ 学力向上等支援、特別支援教育支援：支援員 80 人
- ☆ プログラミング教育に係る実践的な指導者養成研修：小学校教員 120 名程度
- ☆ プログラミング教育実践研究：研究協力校 7 校
- ☆ やまぐち学習支援プログラムの充実：「やまぐちっ子学習プリントクラス」の拡充 「やまぐちっ子 the Movie」の拡充
- ☆ 総合支援学校通学バスの増便や通常運行路線の通学バスの大型化 等

といった事業が予算化されています。（詳しくは県教連事務局にお問い合わせください）